

平成 16 年 9 月 24 日

各位

株式会社 りそな銀行
株式会社 埼玉りそな銀行

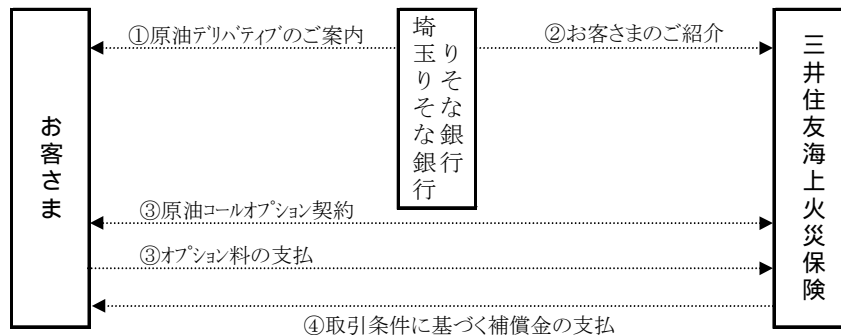
原油デリバティブの取扱開始について

りそなグループのりそな銀行（社長 野村 正朗）及び埼玉りそな銀行（社長 利根 忠博）は、三井住友火災海上保険株式会社（社長 植村 裕之）と提携し、本年 10 月 1 日（金）より、原油デリバティブの取扱を開始いたします。

原油価格が過去最高圏で推移する中、石油関連業界のみならず、幅広い業界において、原油価格上昇に伴う原材料費等の上昇リスクヘッジのニーズが高まっております。

本商品は、コールオプションの活用により、原油価格の上昇リスク（コスト増）を回避するものです。お客さま（ご契約者）は、一定のオプション料を支払い、契約期間中（1 ヶ月から 5 年程度まで）に、実際の原油価格指標が、予め定めた指数（行使値）を超えた場合に、補償金を受け取ることができ、原油価格の上昇リスクを抑えることができます。また、契約は円建てで、為替変動リスクも回避されます。

（本商品のスキーム）



原油価格指標は、以下の 3 指標から、お客さまに選択していただきます。

WTI 原油	West Texas Intermediate の略で、米国テキサス州沿岸部で産出される原油。1983 年から NYMEX に上場され、世界最大の先物取引量によって、代表的な原油価格の指標となっている。
ブレント原油	北海油田の英国領海の北部の Brent 油田で産出される原油で、IPE に 1983 年から上場されている。北海の主力油種（フォーティーズ）が価格連動することで、欧州向け原油の指標とされ、WTI 原油と並び、世界の原油市場の代表的な指標となっている。
ドバイ原油	アラブ首長国連邦（UAE）を構成するドバイで産出される原油で、スポット市場での取引が多い。バスケット価格の指標油種であるとともに、オマーン原油との加重平均が日本国内向けの中東産原油の価格指標となっている。

以上